

令和4年度年間活動計画(案)

福島出張所管内河川レンジャー

桑村 和男 (14期生:2年目)
山本 雅彦 (15期生:試行)
牧野 高輝 (16期生:試行)

毛馬出張所管内河川レンジャー

伊藤 茂 (12期生:4年目)
岸田 俊徳 (15期生:試行)
松田 正浩 (16期生:試行)

目次

福島出張所管内河川レンジャー

桑村 和男	(14期生:2年目)	1
山本 雅彦	(15期生:試行)	3
牧野 高輝	(16期生:試行)	5

毛馬出張所管内河川レンジャー

伊藤 茂	(12期生:4年目)	7
岸田 俊徳	(15期生:試行)	10
松田 正浩	(16期生:試行)	12
連携活動		14

氏名	桑村 和男	区分	河川レンジャー（1期目）	所属	福島出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

地球温暖化により、最近の異常気象—特に台風・集中豪雨災害が多発しています。また、東南海地震は必ず発生すると言われており、地震・津波災害が予想されます。私の住む大阪市西淀川は、淀川・神崎川に囲まれたゼロメートル地帯で、特に台風等の水害—淀川の水害に見舞われてきた歴史をもっています。ところが最近では、過去の歴史を知らない世代が多くなり、また、淀川に行く経験も少なくなり、水害のことに無関心で住んでいる地域の危険度も知らない人が多くなっています。第2室戸台風の水害を経験した私は、河川レンジャーの活動を通じて、淀川の洪水と人々の防災への取り組みの歴史を住んでいる人に伝えて、これから予想される災害に備えていく活動を地域と連携して進めていくことを目指します。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	淀川の河川敷に来てもらって、歩いてもらって、見てもらって、体験してもらって、 ⇒淀川を身近に知り知ってもらおう。	淀川歴史まちあるき	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		バッタのオリンピック	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	地域の中に入って、河川レンジャー活動を進めていく 地域の人との繋がりを構築していく	小学校マイタイムライン出前授業		⇒	⇒	⇒	⇒
		新北野ヨシ原再生の観察・維持（清掃）活動		⇒	⇒	⇒	⇒
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域住民と淀川の課題について話し合う場をつくって、意見を発信していく。	地域の間（町内会等）での防災活動				⇒	⇒

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	①コロナ禍であったが、地域住民への活動を進めることができなかった。 ②行政、関係団体のコネクションが不十分であった。 ③他地域の河川レンジャーの取組への参加が不十分であった。
課題に対する取り組み	①地域活動に積極的に参加する。 ②河川レンジャー活動のPR ③先輩R, RAの活動への参加 ④先輩R, RAのアドバイスを得る。 ⑤事務局スタッフの協力を得る。 ⑥行政・関係団体へのコンタクト ⑦防災知識の修得

出張所	福島	福島	福島	福島
氏名	桑村 和男	桑村 和男	桑村 和男	桑村 和男
No.	1	2	3	4
活動名	淀川歴史まちあるき	バッタのオリンピック（福島地区）	新北野ヨシ原再生観察	マイタイムライン出前授業
主たる活動分野	E歴史・文化	F川づくり・人づくり	B環境保全	A治水・防災
活動目的 （1000字程度）	まちあるきを通して、淀川の洪水の歴史を知ってもらって、今後発生する水害についてどう対応して身を守っていくかを考えてもらう。	河川敷に生息するバッタを通して、淀川の自然を体験してもらい、環境保全の大切さを考えてもらう。	新北野ヨシ原再生を知ってもらって、観察会やゴミ掃除などを実施して、環境保全の大切さを考えてもらう	小学校で出前授業、マイタイムラインの実習を通して、防災を学んでもらう
活動内容 （1000字程度）	北区のまち歩きをしてから、毛馬出張所にいきます 淀川大堰、毛馬施設（閘門、水門、排水機場）を見学して、それぞれの役割について知ってもらいます 新淀川開削工事に関わった人たちも紹介します	現地集合後、河川敷でバッタを採集する。 バッタをスタート台から飛ばす。飛距離と飛翔時間を計測 優秀者には、金、銀、銅メダルの表彰	ヨシ原について学習し自然環境の大切さを知ってもらう ヨシの再生の観察会を行う ヨシ原の漂流ゴミの掃除を行う	水の災害について説明をして知識をつけてもらう 自分のまちのハザードマップの見方の学習する マイタイムラインの実習を行う
運営形態	主催	主催	主催	主催
連携 予定	市民団体等			
	行政機関			
	学校関係		高校（これから調査申入れ）	小学校（これから調査申入れ）
活動予定月（日）	11月	10月	8月?	1月?
活動場所(市町村)	大阪市北区	大阪市淀川区	大阪市淀川区	大阪市西淀川区
活動場所	大阪メトロ中津駅→豊崎神社→毛馬出張所（施設見学）→大川沿い→大阪メトロ都島駅	淀川河川公園十三野草地区	淀川河川敷新北野ヨシ原再生エリア	小学校
参加対象者	淀川の歴史に興味がある人	小学生以下（保護者同伴）	高校生	小学校
定員	10名	10組	20人	1回40人?（1クラス単位）
年間 スケ ジュ ール	4月		立案説明資料作成	立案説明資料作成
	5月		立案計画、先生の予約	小学校訪問
	6月			
	7月	調査	下見・先生と打ち合わせ	準備
	8月	下見・毛馬出張所打ち合わせ	実施計画書作成、チラシ作成・広報活動	実施
	9月	実施計画書作成、チラシ作成・広報活動	下見、物品手配準備	
	10月	下見・打ち合わせ	実施	
	11月	実施	実施結果まとめ	
	12月	実施結果まとめ		打ち合わせ、実施計画書作成
	1月			準備、 実施
2月				
3月				
スタッフ（人数・役割）	2名（列の後方安全確認）	3名（受付、計測2）	2名（準備、安全確認、ゴミ回収）	1名
広報・募集方法	ちらし、ホームページ	ちらし、ホームページ	新北野近傍の高校の参加を募る（学校訪問）	西淀川区の小学校に参加を募る（学校訪問）
支援要望事項	資料等、印刷 毛馬施設の見学手配	巻き尺、ストップウォッチ、バッタ選定パネル、救急箱、資料等、印刷	ゴミ回収道具、軍手、ゴミ袋、救急箱、資料等印刷	マイタイムライン資料、資料等印刷
水害体験施設の要望				
安全対策	現地下見を行い、コース上の安全確認を行う。 参加者のコロナ対策－健康確認・マスク着用・消毒 参加者のスペース確保	現地下見を行い、コース上の安全確認を行う。 参加者のコロナ対策－健康確認・マスク着用・消毒 参加者のスペース確保	現地下見を行い、コース上の安全確認を行う。 参加者のコロナ対策－健康確認・マスク着用・消毒 参加者のスペース確保	屋内での活動、コロナ対策（密にならないように距離を取った席配置、換気徹底、消毒、マスク着用）
実施に向けて困っている事・課題	トイレの対応	テント、机、いすの手配と輸送	対応してくれる学校を見つけること	対応してくれる学校を見つけること
その他				

氏名	山本 雅彦	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	福島出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

温暖化の影響もあり、近年は過去の経験が通用しない大規模な水災害が多発している。その注意喚起のために行政から各戸にハザードマップが配布されているが、その見方や活用方法が必ずしも浸透されているとは言えず、有事の際の避難行動計画が立てられていないことによる被害の拡大を防止する。

また近くを流れる淀川と触れ合うことが少なくなっている地域住民にその魅力に気づいてもらうため、淀川がもつさまざまな特色を伝えることで「淀川ファン」を増やす。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	自身が居住するマンション住民を対象とした活動から開始し、徐々に対象範囲を広げる	水防災勉強会	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	活動の実施 学校、市民団体・組織、行政等とのネットワークを拡張・強化・発展させる	水道記念館施設見学と水質調査（『人と人を結ぶ』活動）	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		紙漉き・卒業証書製作	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	信頼関係が構築できた団体を対象として川に関するヒアリングを実施することで問題とされる項目を理解し、その改善案をレンジャー活動のテーマとする。	新たな団体や組織を設立するのではなく、既存する団体や組織の活動に河川に関する内容を組み込むようにすることで川とのつながりを恒久化する				⇒	⇒

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	コロナ禍という過去に経験がない状況のため、今までとは全く異なるアプローチが必要となるが、その効果的な対処方法が不明（正解がない）
	実施したい活動に対する ①最適なネットワーク ②適切な施設 ③効果的なカリキュラム 等に対する知識が不足している
課題に対する取り組み	正解がない＝すべてが正解 ととらえ、社会的状況を常に把握しておく
	スキルアップをめざす ①（河川にこだわらず）過去に参加したイベント主催団体と川との接点をさがしタイアップを提案する ②管区内を歩いてさがす（1回/月程度）また実施しているイベントに参加し地域とのつながりをつくり淀川の課題を理解する ③先輩レンジャー、アドバイザーの活動に参加し参考にする

出張所	福島	福島	福島	福島	
氏名	山本 雅彦	山本 雅彦	山本 雅彦	山本 雅彦	
No.	1	2	3	4	
活動名	水防災勉強会	水道記念館施設見学と水質調査①	水道記念館施設見学と水質調査②	紙漉き・卒業証書製作	
主たる活動分野	A治水・防災	B環境保全	B環境保全	F川づくり・人づくり	
活動目的 (100字程度)	ハザードマップを理解しマイ・タイムラインを作成することで、個人としてそしてマンションとしての問題点を共有し、有事の際の早期避難を可能とする	水道事業の役割や水の大切さや浄水場の仕組みを学び、水質を体感することで環境保全を考えるきっかけをつくる	水道事業の役割や水の大切さや浄水場の仕組みを学び、水質を体感することで環境保全を考えるきっかけをつくる 水質調査①参加者から知人・友人に展開してもらうことで、『人と人を結ぶ』	ヨシが紙として再生できることを知ることで、淀川について興味をもつきっかけをつくる	
活動内容 (100字程度)	自身が居住するマンションの理事会役員を対象にハザードマップの見方を中心に勉強会を行う	水道記念館の館内展示施設見学およびバックテストによる水質調査を体験する	水道記念館の館内展示施設見学およびバックテストによる水質調査を体験する(水質調査①と同じ内容)	ヨシを漉いて自身の卒業証書として再生する	
運営形態	主催	主催	主催	主催	
連携予定	市民団体等				
	行政機関	大阪市水道局	大阪市水道局	教育委員会	
	学校関係			小学校	
活動予定月(日)	11月	5月(GW)	8月(夏休み)	2月	
活動場所(市町村)	大阪市淀川区	大阪市東淀川区	大阪市東淀川区	(未定)	
活動場所	(居住するマンションの集会所)	水道記念館	水道記念館	小学校の理科室	
参加対象者	理事会役員、管理会社担当者、管理人	小学生(保護者同伴)	小学生(保護者同伴)	小学校6年生(教員同伴)	
定員	15人程度	20組程度	20組程度	(未定)	
年間スケジュール	4月			(引き続き)紙漉きイベントを実施している業者を探す	
	5月			教育委員会と打ち合わせ	
	6月			教育委員会と打ち合わせ	
	7月			教育委員会へ広報開始	
	8月	新役員、管理会社と打ち合わせ		スタッフ決定、打ち合わせ、資料作成	
	9月	資料作成		実施	
	10月	資料作成		活動まとめ	
	11月	実施		小学校、業者と打ち合わせ、資料作成	
	12月	活動まとめ		小学校、業者と打ち合わせ、資料作成	
	1月		水道記念館(大阪市)と打ち合わせ	水道記念館(大阪市)と打ち合わせ	小学校、業者と打ち合わせ、資料作成
	2月		準備、資料作成		実施
	3月		広報開始、下見、資料作成		活動まとめ
スタッフ(人数・役割)	3人程度、受付、進行補助	3人程度、受付、進行補助	3人程度、受付、進行補助	(未定だが参加対象者の人数が多いため必要と考えている)	
広報・募集方法	(居住するマンションを対象とするため募集しない)	水道記念館HP	水道記念館HP	教育委員会へ直接募集するため不要	
支援要望事項	マイ・タイムライン台帳、シール支給 水災害資料(画像、動画)の支給	バックテスト支給	バックテスト支給	ヨシの手配、保管場所 製本・印刷業者の紹介	
水害体験施設の要望					
安全対策	(特に必要ないと考える)	(特に必要ないと考える)	(特に必要ないと考える)	(特に必要ないと考える)	
実施に向けて困っている事・課題	勉強会の実施が理事会で承認されるか	水道記念館が冬期休館中(12/9~2/28) バックテストの復習 施設ガイドスタッフの選定	友人・知人に展開してもらえるか	委託先選定、ヨシ・紙漉き道具の段取り・保管場所の知識が不足	
その他	2022/2/27に現役員を対象に実施予定 その反応によって資料や対象者の見直しを行う	水道記念館HPによると、イベント企画を募集中ということ 浄水場見学、出前水道教室との連携	もし参加者が多い(展開してもらえた)場合は複数回実施することを検討する	受けて入れてもらえる小学校があるか	

氏名	牧野 高輝	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	福島出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

淀川流域で生まれ育って生活の中に川との関わりが大きかった1人の人間として、川は危険な場所では無く誰もが身近にある安全で楽しく利用できる空間・場所である事を知って貰いたい！と思うと共に河川レンジャーとしてより多くの人達へ河川利用のマナーや近年の自然災害を踏まえ防災意識の向上を目指します。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	まずは試行期間の前半で関係団体を積極的に訪問し地域特有の問題点を掘り起こし河川の利用と理解を深める方策を立案して協力者の輪を広げ効果ある企画を実行する。	川とふれあう活動として、各地区の小学生を対象に川の自然と防災について遊びながら学ぶ学習会を実施。	⇒	⇒	⇒		
		地域における河川利用の問題点を改善すべく協力者のネットワークを利用して〇〇作戦を実施。			⇒	⇒	⇒
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	自身の行動だけでは企画倒れになる事もあり協力者や理解者をより多く得る事。 ボランティア活動団体との連携。
課題に対する取り組み	各地区の関係団体だけでなく非営利団体の中にも今まで接点の無かった人々へも防災関係の話や環境保護ボランティア活動グループなどにも積極的に河川レンジャーとして訪問、説明し協力者のネットワーク構築に努力する。

出張所	福島			
氏名	牧野 高輝			
No.	1			
活動名	「淀川を知ろう！」ゲームやクイズで楽しく川を知ろう！ 課外学習会			
主たる活動分野	A治水・防災			
活動目的 (1000字程度)	淀川流域の小学生を対象に淀川の堤防や河川敷その他の施設を見学しながら防災や地域の歴史などを楽しく学んで頂く。			
活動内容 (1000字程度)	各地区の小学生を対象に関係団体への理解を得ながら現場でクイズやゲームを交えながら楽しいうちに淀川の事を少しでも知ってもらえる体験型学習会。			
運営形態	共催			
連携 予 定	市民団体等			
	行政機関			
	学校関係			
活動予定月(日)	11月			
活動場所(市町村)	大阪市淀川区			
活動場所	大阪市淀川区塚本 淀川堤防及び河川敷			
参加対象者	塚本小学校 小学3年生以下保護者同伴			
定員	30人			
年 間 ス ケ ユ ー ル	4月	関係団体(塚本小学校)へ挨拶と提案		
	5月	関係先打ち合わせ		
	6月	準備		
	7月	スタッフ決定		
	8月	打ち合わせ		
	9月	広報開始		
	10月	下見		
	11月	実施		
	12月	活動まとめ		
	1月	統括		
2月				
3月				
スタッフ(人数・役割)	未定			
広報・募集方法	協力団体へ参加者募集の案内と地区公民館などへチラシを配置。			
支援要望事項				
水害体験施設の要望				
安全対策	集合場所から現地までの安全な徒歩経路をマップで掲載し参加者へ配布。			
実施に向けて困っている事・課題				
その他				

氏名	伊藤 茂	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	毛馬出張所
----	------	----	--------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

地域住民に淀川の四季、自然や美しさ楽しさを再発見させる。
 また防災や危機管理などの意識づけや水辺の安全教育も子どもから保護者へまたは、大人から子どもへ自然体験活動を通じて学んでもらう。
 自然体験活動を通じて地域住民の川に対する関心を深め防災及び環境についても共通認識を向上させる。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	遊びを通じて淀川の自然を学ぶ。	自然観察会と水辺の遊びを通じた情報発信と河川レンジャーの知名度UPの為の広報活動の実践。	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	自然体験活動を通じて流域住民の皆様が防災の共通意識を高め地域団体や活動団体などの連携を強化活用し相互協力体制の構築を目指す。	区行政と連携し子どもから老人まで地域に即したより細かい防災減災活動を提案し実行する。			⇒	⇒	⇒
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	水辺や河原の保全・再生や身近な自然を楽しめる川にする為、川とまちが一体となった河川整備を実施できるよう地域住民と行政とのパイプ役になる。	地域住民・地域団体・行政区との協働で環境に適した住民の希望や意見の入った新しい河川公園の整備改修の取り組みを行う。					⇒

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	河川レンジャーの認知度を優先に考えて活動してきましたが、コロナ禍もあり今ひとつ手ごたえがなく過ぎて行ったような感じがします。残り少なくなったレンジャー活動をもっと効率よく地域住民と関わり行政とも協働し、役に立つ活動を考え行動していきたいと思っています。
課題に対する取り組み	地域団体、行政との協働作業の構築を確実に行動していきます。淀川の自然環境の発信もありますが、第一に防災減災について知識を高める事と、身近で最新情報も発信できる土壌の基礎作りと一人でも多くの方々に地域防災の知識や行政の努力を知って頂き防災を大人子どもにわかりやすく発信し、あたり前の身近な存在になるよう努力したいと思っています。

出張所	毛馬	毛馬	毛馬	毛馬
氏名	伊藤 茂	伊藤 茂	伊藤 茂	伊藤 茂
No.	1	2	3	4
活動名	淀川大堰の魚道観察・施設見学会	子ども防災 マイタイムライン	赤川ワンドの生き物観察会Ⅰ	赤川ワンドの生き物観察会Ⅱ
主たる活動分野	B環境保全	A治水・防災	B環境保全	B環境保全
活動目的 (100字程度)	淀川環境を守り生き物にも優しい施設を見学し自然環境と防災についても理解してもらう。	防災に興味を持たせ防災意識を高める	淀川の魚に触れてもらい自然豊かな淀川・ワンドの環境や生物に興味をもってもらう	淀川の魚に触れてもらい自然豊かな淀川・ワンドの環境や生物に興味をもってもらう
活動内容 (100字程度)	淀川大堰の魚道観察(アユの遡上)と排水機場の見学	棲んでいる都島区の防災タイムラインを完成させる。	タモアミの使い方、魚捕り、捕れた生き物の説明、赤川ワンドについての説明、捕獲された生物の計測	タモアミの使い方、魚捕り、捕れた生き物の説明、赤川ワンドについての説明、捕獲された生物の計測
運営形態	主催	主催	主催	主催
連携予定	市民団体等			
	行政機関			
	学校関係			
活動予定月(日)	5/8予定	6月予定	7/24	8/7
活動場所(市町村)	大阪市北区	大阪市都島区	大阪市都島区	大阪市都島区
活動場所	淀川大堰と排水機場	都島区役所会議室	赤川ワンド	赤川ワンド
参加対象者	地域住民 子どもは小学校3年生以上	都島区の小学生高学年	地域の小学生親子	地域の小学生親子
定員	20名	15名	20名	20名
年間スケジュール	4月	打合せ・下見	区役所との打合せ・下見	
	5月	実施	練習	
	6月		実施	草刈り・下見
	7月			下見
	8月			実施
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
2月	チラシ作製			
3月	打合せ・下見			
スタッフ(人数・役割)	危険箇所があるので2名安全管理者必要	指導補助1-2名	4名	4名
広報・募集方法	チラシ配布・SNS/口コミ	チラシ配布・SNS/口コミ	チラシ配布・SNS/口コミ	チラシ配布・SNS/口コミ・地域のボーイスカウト
支援要望事項	事務局：ライフジャケット20個 毛馬出張所：排水機場・閘門・大堰の施設概要説明(60分) 排水機場のチラシ人数分必要	事務局：プロジェクター パソコン 区役所：防災マップ他 防災書類やグッズあればお願いしたい	事務局：たも網・四つ手網ブレイク・ライフジャケット・投網・テント・など 毛馬出張所：草刈り(6月中) 物品の運搬	事務局：たも網・四つ手網ブレイク・ライフジャケット・投網・テント・など 毛馬出張所：草刈り(6月中) 物品の運搬
水害体験施設の要望				
安全対策	見学時の安全対策打合せ必要 ※コロナ対策・健康調査表の提出・当日の体温検査・ソーシャルディスタンスをとる	実施前に役所とコロナ対策打合せ必要 消毒・換気・健康調査表の提出・当日の体温検査・ソーシャルディスタンスをとる	・救急セットの準備 ※コロナ対策・健康調査表の提出・当日の体温検査・ソーシャルディスタンスをとる。定期的なセーフティアウンスの実施・消毒液による消毒・熱中症対策の準備	・救急セットの準備 ※コロナ対策・健康調査表の提出・当日の体温検査・ソーシャルディスタンスをとる。定期的なセーフティアウンスの実施・消毒液による消毒・熱中症対策の準備
実施に向けて困っている事・課題	アユの遡上時期が毎年微妙に違うので見れない場合が多い。是非とも見てみたい。	コロナ対策等で会場を貸してもらえない心配	魚の知識のあるスタッフの確保	魚の知識のあるスタッフの確保
その他	実際の魚道管理者にもお話をしたい。			

出張所	毛馬	毛馬		
氏名	伊藤 茂	伊藤 茂		
No.	5	6		
活動名	バッタオリンピック	OSAKA CITY 淀川左岸クリーン作戦		
主たる活動分野	B環境保全	D維持管理		
活動目的 (100字程度)	淀川の自然に触れてもらいバッタに関心を持ってもらう。また、自然の豊かさを感じ、自然を身近に感じてもらう目的で行います。	淀川の環境を守り、協働美化活動によって淀川に愛着を持ってもらう。		
活動内容 (100字程度)	自由に河川敷でバッタを捕り、捕れたバッタの体の特性説明や食性などを知り、捕獲したバッタを放ち、その飛距離を競い合います。	毛馬閘門南東部河川敷堤防よりみんなで旭区菅原大橋までの河川敷を掃除しながら歩く。		
運営形態	主催	主催		
連携予定	市民団体等			
	行政機関			
	学校関係			
活動予定月(日)	10/2	2/5		
活動場所(市町村)	大阪市都島区	大阪市都島区と旭区		
活動場所	淀川河川敷公園赤川地区	淀川河川敷公園赤川地区～城北ワンド～菅原大橋間		
参加対象者	地域の小学生親子	地域住民と河川敷を利用している諸団体		
定員	20名	50名		
年間スケジュール	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月	チラシ配布		
	9月	下見		
	10月	実施		
	11月		区役所の後援依頼及び広報誌の打合せ	
	12月		広報誌の原稿提出	
	1月		チラシ配布	
2月		実施		
3月				
スタッフ(人数・役割)	3名 計測 集計 安全確保	4名 受付 安全確保 最終受付チェック		
広報・募集方法	チラシ配布・SNS/口コミ	チラシ配布・SNS/口コミ・都島区広報誌		
支援要望事項	毛馬出張所：メジャー パイロン 車両運搬許可	毛馬出張所：拡声器 パイロン 車両運搬許可		
水害体験施設の要望				
安全対策	・救急セットの準備 ※コロナ対策 ・健康調査表の提出 ・当日の体温検査 ・ソーシャルディスタンスをとる。定期的なセーフティアナウンスの実施 ・消毒液による消毒 ・熱中症対策の準備	・救急セットの準備 危険物や動物の死骸にはさわらない※コロナ対策 ・健康調査表の提出 ・当日の体温検査 ・ソーシャルディスタンスをとる。定期的なセーフティアナウンスの実施 ・消毒液による消毒		
実施に向けて困っている事・課題		出来れば連携でいたいはまだ未定		
その他				

氏名	岸田 俊徳	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	毛馬出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

「近隣住民を含む多くの人々に対し水辺への興味度を上げます。」
 水辺は楽しいことがなんでも出来るイメージがあるが実は危険な箇所が多く、また、見るからにきたない箇所や一部の河川利用常連者（釣り、ラジコン、非動力船）などが幼い子供を持つ親子などに不安を与えることが多いのも今の状況です。誰もが楽しく憩える場所づくりを5年かけて行いたいと思っています。水辺への興味こそが水辺を知る原動力になり、河川で遊ぶだけでなく生態系や防災への興味、緩やかな水辺利用ルールに繋がっていくと考えています。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	水辺をみんなで知る。	①淀川名人養成体験講座 ・生物採集と河川の状況調査 ・植物採集と河川の状況調査 ※淀川の環境について参加者と考える。	⇒	⇒	⇒		
		②防災 ・施設見学と防災	⇒	⇒	⇒		
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	水辺を誰かに伝える。	①清掃活動 ・クリーン大作戦		⇒	⇒		
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	水辺の使い方を提案実施する。	①淀川デイキャンプ			⇒	⇒	⇒

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	淀川の環境を知り、多くの方と情報を共有し、淀川を身近に感じてもらう。
課題に対する取り組み	淀川を身近に感じることで、貴重な生物がいる川であるだけでなく、淀川の治水の取り組みを知り、防災への興味、活動の輪を広げる。

出張所	毛馬	毛馬	毛馬	毛馬	
氏名	岸田 俊徳	岸田 俊徳	岸田 俊徳	岸田 俊徳	
No.	1	2	3	4	
活動名	クロベンケイガニ釣り	毛馬排水機場見学	植物採集	淀川クリーン大作戦	
主たる活動分野	F川づくり・人づくり	A治水・防災	B環境保全	D維持管理	
活動目的 (1000字程度)	淀川を身近な河川と感ずること	淀川の治水を学ぶ	淀川を身近な河川と感ずること	淀川を身近な河川と感ずること	
活動内容 (1000字程度)	・淀川の生き物を通じて、現在の環境を知る ・淀川検定（参加者が楽しみながら学ぶことができ、淀川への関心がさらに高まるように活動を通じて感じたことを、クイズ形式で学習する。参加者と作問したクイズは、ストックし、活動などで活用を行う。	・毛馬周辺を防災の視点で散策 ・施設見学を通じ、水害に対する対策を知る ・淀川検定作問	・淀川の植物の観察や採取を通じて、現在の環境を知る ・淀川検定作問	・清掃を通じて、現在の環境を知る	
運営形態	主催	主催	主催	共催	
連携 予定	市民団体等	淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク（予定）			
	行政機関		国交省近畿地方整備局河川事務所（予定）	大阪市東淀川区	
	学校関係				
活動予定月（日）	8月	10月	10月	12月	
活動場所(市町村)	東淀川区	北区	旭区	東淀川区	
活動場所	柴島ワンド	淀川毛馬施設及び毛馬周辺	城北ワンド周辺	菅原城北大橋付近	
参加対象者	小学生対象（保護者同伴）	小学生対象（保護者同伴）	小学生対象（保護者同伴）	一般	
定員	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度	
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月				
	5月	活動内容作成			
	6月	広報・下見			
	7月	備品等準備・下見	活動内容作成	活動内容作成	
	8月	活動・報告書作成	広報・下見	広報・下見	
	9月		備品等準備・下見	備品等準備・下見	
	10月		活動・報告書作成	活動・報告書作成	
	11月				活動内容作成
	12月				広報・下見
	1月				備品等準備・下見
2月				活動・報告書作成	
3月					
スタッフ（人数・役割）	未定	未定			
広報・募集方法	SNS、チラシ、広報誌など	SNS、チラシ、広報誌など	SNS、チラシ、広報誌など	SNS、チラシ、広報誌など	
支援要望事項	事務局：活動備品の要請	毛馬出張所：見学の申請 事務局：活動備品の要請	事務局：活動備品の要請	事務局：活動備品の要請	
水害体験施設の要望					
安全対策	子供にはライフジャケット着用			軍手や長袖長ズボン、長ぐつ着用	
実施に向けて困っている事・課題					
その他					

氏名	松田 正浩	区分	河川レンジャー（試行期間）	所属	毛馬出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

淀川水域で実施されている治水・防災の取り組みを知ること見ることを通じ、淀川を身近に感じていただく。
また、淀川流域で活動されている方々に地域の特性を理解していただき、その特性に応じた避難方法を知っていただき、主体的かつ適切な避難行動を考えるきっかけを作る。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4～RA
Step1 地域住民の関心を高める	治水・防災の取り組みに関する啓発活動を行い関心を高める	①ソフト対策 活動する地域の特性を知り、その特性に応じた避難方法や行動を知るきっかけづくり「タイムライン作成」ワークショップを実施	⇒	⇒	⇒		
		②ハード対策 治水・防災のハード対策を知る機会と見る機会を作る「知って、歩いて、見る」企画を実施					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む							
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築							

3. 総括

	内容
活動をしていく上での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス禍における安全対策 ・参加者がケガなどしないような安全対策 ・人を集めること
課題に対する取り組み	<p>安全対策についてはガイドラインに則り準備を進めます。</p> <p>企画の参加を募る方法はレンジャーHPだけでなく、諸先輩からアドバイスをいただき実行したいと考えております。</p>

出張所	毛馬	毛馬		
氏名	松田 正浩	松田 正浩		
No.	1	2		
活動名	【淀川の歩き方】見て、聞いて、歩いてシリーズ 「淀川の治水・利水・防災・環境の取り組み」を知ろう	【淀川の歩き方】見て、聞いて、歩いてシリーズ 「淀川の治水・利水・防災・環境の取り組み」を知ろう		
主たる活動分野	A治水・防災	A治水・防災		
活動目的 (100字程度)	淀川流域に住む方々が、「その地域ごとの特性に応じた避難方法を踏まえ、主体的かつ適切な避難行動を考える」きっかけ作り	淀川における治水・防災にかかわる取り組みを実際に歩き現場を見て知ること で人と川の距離を縮める		
活動内容 (100字程度)	自分が住む地域の避難方法を知り・考えるきっかけを作る企画 ・自分が活動する地域の水害ハザードマップの確認 ・避難勧告の発令に着目したタイムラインの策定	実際に淀川河川敷を歩いて治水・防災のハード対策を見る・知るという企画 ・治水・防災のハード対策について、現在行政の取り組みや過去の取り組みについて知る ・実際に現場まで歩いて、現場を確認する ・現場でレクチャーを受ける		
運営形態	主催	主催		
連携 予定	市民団体等			
	行政機関			
	学校関係			
活動予定月(日)	6月、7月(予備)	10月、11月(予備)		
活動場所(市町村)	大阪市	大阪市、守口市、寝屋川市、枚方市(大阪市～枚方市まで)		
活動場所	毛馬出張所施設内(またはオンライン活動)	・大阪市此花区西島地区スーパー堤防 ・阪神なんば線淀川橋梁改築事業現場 など		
参加対象者	地域住民(大阪市、守口市、寝屋川市、枚方市)	地域住民(大阪市、守口市、寝屋川市、枚方市)		
定員	10名～20名	30名		
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月	関係先打ち合わせ・準備、スタッフ決定・打ち合わせ	関係先確認、企画	
	5月	下見、実施、活動まとめなど準備	関係先打ち合わせ・準備、教材準備、スタッフ決定・打ち合わせ	
	6月	実施・報告	関係先打ち合わせ・準備、教材準備、スタッフ打ち合わせ、広報開始、下見	
	7月		関係先打ち合わせ・準備、教材準備、スタッフ打ち合わせ、下見	
	8月		関係先打ち合わせ・準備完了、教材完成、スタッフ打ち合わせ、下見	
	9月		実施、活動まとめなど準備完了	
	10月		実施・報告	
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
スタッフ(人数・役割)	未定	未定		
広報・募集方法	レンジャーHP、その他手段について検討中	レンジャーHP、その他手段について検討中		
支援要望事項	開催は土曜・日曜を予定、事務局・出張所と関係のある施設で人を集めることができる場所をお借りしたい。 また本取り組みで使ってもよい教材があればご教示いただきたい。	事務局・出張所と関係のある施設・現場をご教示いただきたい。またその施設担当者、現場担当者の役職・氏名をご存知であればご教示いただきたい(可能であれば)。 また本取り組みで使ってもよい教材があればご教示いただきたい。		
水害体験施設の要望	水害体験施設	水害体験施設		
安全対策	未定(新型コロナウイルス対策、その他安全対策について勉強し検討する予定ですが、ご教示いただきたい)	未定(新型コロナウイルス対策、その他安全対策について勉強し検討する予定ですが、ご教示いただきたい)		
実施に向けて困っている事・課題	・治水・防災の取り組みについて知識を増やすこと(知識が足りないこと) ・レクチャーするための教材作成(情報収集～整理・作成)	・治水・防災の取り組みについて知識を増やすこと(知識が足りないこと) ・レクチャーするための教材作成(情報収集～整理・作成) ・実際に治水・防災の施設・ハード対策が実施されている場所と見学できる場所の確認		
その他		・見学できる施設の選定後、施設をご案内いただける方の調整 ・淀川河川敷を歩いて実際に施設見学、現場見学を検討。その前に講義を設定予定。聞いて・知って・歩いて・見るという流れを予定		

連携活動

出張所		福島	高槻	高槻
氏名		桑村 和男	杉本 真一	杉本 真一
シレ連携 ヤン	1氏名・役割	平井 裕三:広報及び各機関の調整 実施運営	杉本 真一:統括、摂津市との調整、学生団体への参画呼びかけと調整	杉本 真一:統括、摂津市との調整、学生団体への参画呼びかけと調整
	2氏名・役割	桑村 和男:西淀川区との団体の連絡調整 実施運営	原 健二:企画、保全活動の指導、安全管理	原 健二:企画、保全活動の指導、安全管理
	3氏名・役割		伊藤 茂:摂津市との調整、水質調査企画、生き物調査企画・とりまとめ	伊藤 茂:摂津市との調整、水質調査企画、生き物調査企画・とりまとめ
No.		1	2	3
活動名		淀川右岸河川敷クリーン大作戦!	鳥飼ワンド大作戦	鳥飼ワンド大作戦
主たる活動分野		D維持管理	B環境保全	B環境保全
連携理由欄		淀川右岸3区(淀川区・西淀川区・淀川区)で行っているグリーン作戦に地元西淀川区の桑村レンジャーとの連携で、地域住民との連携を広げていく。	高槻出張所管内の課題である「鳥飼ワンド」の特定外来種駆除をより多面的に行うために、複数名のレンジャーとの連携が不可欠であると考え。また、活動により摂津市の市民団体等との連携や新規レンジャー発掘につながればと考えている	高槻出張所管内の課題である「鳥飼ワンド」の特定外来種駆除をより多面的に行うために、複数名のレンジャーとの連携が不可欠であると考え。また、活動により摂津市の市民団体等との連携や新規レンジャー発掘につながればと考えている
活動目的 (100字程度)		毎年淀川管内を上流域から下流域まで一斉に行っている清掃活動。淀川右岸の西淀川地域の清掃を行います。	琵琶湖から淀川流域で繁茂している特定外来種の現状を知り、外来水草の根絶を目指す。また、駆除活動を通じ、地域住民や市民団体などと連携しながら、持続可能な保全活動とワンドの活用法を考える。	琵琶湖から淀川流域で繁茂している特定外来種の現状を知り、外来水草の根絶を目指す。また、駆除活動を通じ、地域住民や市民団体などと連携しながら、持続可能な保全活動とワンドの活用法を考える。
活動内容 (100字程度)		淀川右岸の清掃活動。移動時間を除く約1時間。	特定外来種オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ等を駆除し、持続可能な体制づくりを推進する	特定外来種オオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウ等を駆除し、持続可能な体制づくりを推進する
運営形態		主催	主催	主催
連携 予 定	市民団体等		建設技術研究所、学生団体IVUSA大阪高槻クラブなど	建設技術研究所、学生団体IVUSA大阪高槻クラブなど
	行政機関	西淀川区役所・西淀川区生涯学習推進区民会議		
	学校関係			
活動予定月(日)		2月～3月	5月(開花、繁茂前に適した時期である)	11月(活動しやすい時期であるため)
活動場所(市町村)		大阪市西淀川区	摂津市	摂津市
活動場所		塚本駅(柏里商店街～国道2号線)	淀川河川公園鳥飼地区(鳥飼ワンド)	淀川河川公園鳥飼地区(鳥飼ワンド)
参加対象者		どなた様でも	市民、市民団体、学生団体など	市民、市民団体、学生団体など
定員		50名	20名	20名
年 間 ス ケ ジ ユ ー ル	4月		関係機関との調整、打合せ、事前準備(現地下見)	
	5月		駆除活動(春季)の実施	
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	西淀川区役所・西淀川区生涯学習推進区民会議連絡調整。		関係機関との調整、事前準備(現地下見)
	11月			駆除活動(秋季)の実施
	12月	区広報掲載原稿案作成		
	1月	下見、備品の準備		
2月	実施			
3月	結果報告			
スタッフ(人数・役割)			毛馬・高槻管内河川レンジャー、高槻管内河川レンジャーアドバイザー	毛馬・高槻管内河川レンジャー、高槻管内河川レンジャーアドバイザー
広報・募集方法		西淀川区広報、チラシ	関係機関やSNSでの告知	関係機関やSNSでの告知
支援要望事項		のぼり・ゴミ袋・軍手等 ゴミの回収依頼	水生生物調査講師を希望(河合典彦氏)、 駆除用資材、駆除した外来種の処理	水生生物調査講師を希望(河合典彦氏)、 駆除用資材、駆除した外来種の処理
水害体験施設の要望				
安全対策		・開始時の参加者への説明。(触らないゴミの種類について) ・参加者の健康チェック、接触頻度の高い物品の消毒、参加者間のスペース確保、定期的なセーフティアナウンスの実施、消毒液による消毒、スタッフのマスク着用、プログラム変更、時間短縮	ワンドの安全指導(監視)	ワンドの安全指導(監視)
実施に向けて困っている事・課題		・開始時の参加者への説明。(触らないゴミの種類について) ・参加者の健康チェック、接触頻度の高い物品の消毒、参加者間のスペース確保、定期的なセーフティアナウンスの実施、消毒液による消毒、スタッフのマスク着用、プログラム変更、時間短縮	摂津市との連携体制の構築、住民をまき込んだ活動の推進	摂津市との連携体制の構築、住民をまき込んだ活動の推進
その他			令和3年度は試行として駆除作業を実施。令和4年度は淀川わいわいガヤガヤまつりとの交流を考えたい。協力体制を構築していく	令和3年度は試行として駆除作業を実施。令和4年度は淀川わいわいガヤガヤまつりとの交流を考えたい。協力体制を構築していく